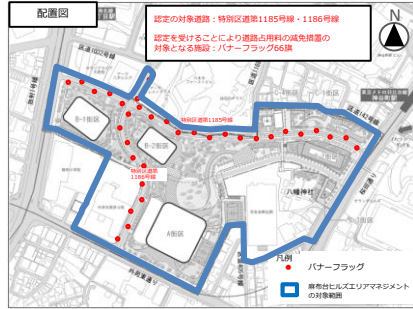


麻布台ヒルズ エリアマネジメントの活動概要

- 活動名称
「麻布台ヒルズ エリアマネジメント」
- 対象地域（広域図／配置図）



- 地域の現状（現状分析）

①広大なオープンスペースや緑地
「Green & Wellness」をコンセプトとする麻布台ヒルズの竣工により、約6,000㎡の広大な中央広場のほか、屋上緑化など起伏のある地形等を生かした多様なオープンスペースが整備されました。



③地域の主体とのコミュニティ発展
麻布台ヒルズだけでなく、近隣町会や麻布小学校等の地域の人々が交流する新たな地域コミュニティ形成が求められています。



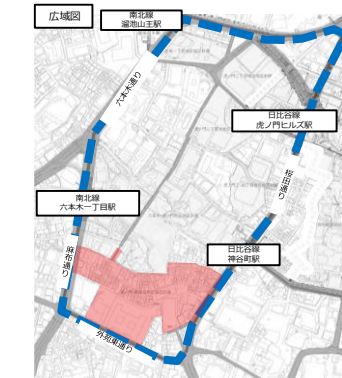
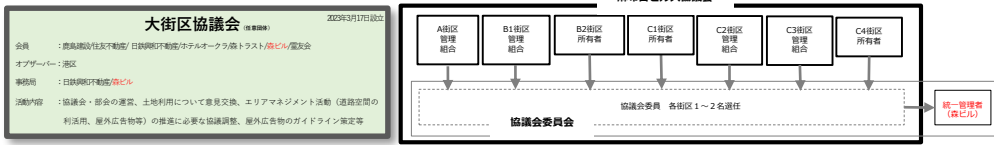
- 将来像と目標

＜現状＞
緑やアートといった麻布台ヒルズに広がる街の資源を活用しながら、公共空間における賑わいづくりやエリア一体の情報発信を多様な関係者と連携して推進することが求められています。

＜将来像＞
『緑に包まれ、人と人をつなぐ『広場』のような街』

- 組織体制

活動主体：大街区協議会 会員 森ビル株式会社（麻布台ヒルズ協議会 統一管理者）



②文化施設をはじめとする多様な魅力的な街の施設
麻布台ヒルズは「街全体がミュージアム」となることを目指し、デジタルアートミュージアムや複数のアートギャラリーが立地しているほか、中央広場には多数のパブリックアートが設置されています。



④周辺施設と連携したエリアマネジメント活動の推進
麻布台ヒルズを含む周辺エリアでは大街区協議会を中心に、各施設が連携したエリアマネジメント活動（Music Weekやさくらまつりなど）を推進しています。



- 取組内容

①地域と連携した活動

・八幡町会や八幡神社と連携した夏祭り
八幡神社境内での盆踊りと連携し麻布台ヒルズの夏祭りを開催
来場者の誘導、警備計画等も連携



・まちの保育園と連携した作付け体験など
主に近隣のまちの保育園のこどもたちを対象に、麻布台ヒルズ内の菜園を活用した作付け、収穫などの体験を提供



・麻布小学校と連携したまち探検ツアー、キッズワークショップ
麻布小学校の生徒向けに麻布台ヒルズ内の各施設をめぐるツアーや主に地域の小学生に向けたキッズワークショップを開催



②エリアの魅力発信

・大街区エリアの情報発信
デジタルサイネージ、紙のマップで麻布台ヒルズ以外の大街区エリアの施設情報を掲載。



③公共的空間を活用した賑わい創出

・グリーン、ウェルネスイベント
主に地域の人々に向けたヨガイベントや麻布台ヒルズの緑を活用したワークショップ等



・季節イベント
地域の賑わいを生む夏祭りやクリスマスマーケット等季節イベントを開催



・憩いの場の形成

椅子、机を設置し、来街者の休憩スペースを確保



・麻布台ヒルズのエリマネ活動に関する情報発信

デジタルサイネージ、フラッグ、麻布台ヒルズWEBサイト、SNSなどで季節ごとのイベント情報を掲載。



- 活動効果

①周辺地域との連携強化・地域への愛着の醸成

・大街区の他施設と連携した情報発信、例えばアークヒルズを中心に開催している「MUSIC WEEK」のような、他施設と連携したイベントの開催期間中、統一デザインのバーナフラグを各施設で掲出することにより、エリア全体で一体感の醸成が期待できます。

・周辺の八幡町会やまちの保育園、麻布小学校といった地域団体との連携活動により、地域の人々が地元に対して愛着を増していくことが期待できます。

②大街区エリアの認知度向上

・魅力的な文化施設や豊富な緑といった大街区固有の地域資源を活用したエリマネ活動を展開していくほか、バーナフラグやデジタルサイネージを活用し、当該エリマネ活動に関する情報発信を積極的に実施することで、大街区エリアの認知度向上、ブランド確立に寄与すると考えます。

・エリアの認知度が高まることで広告料等の収益も増加し、それをエリマネ活動に充当することで、より幅広く、魅力的な地域連携イベントの開催に繋がるという好循環が生まれます。

③コミュニティの広がり

・八幡町会や麻布小学校などの地域団体との連携が強まることで、麻布台ヒルズに限定したコミュニティではなく、より幅広いコミュニティ形成が期待できます。